

## 編集後記

2016 年度も利用者並びに関係各位のご尽力により、当センターでは、大きな事故や問題を起こすことなく、無事に年度を終えることができました。国の財政圧縮の折、今年度も残念ながら新規機器の導入が叶いませんでしたが、既存機器の更新と総合メンテナンスを計画的に実行し、利用者の皆さまの教育・研究活動を引き続きサポートしていく所存です。

2016 年を振り返りますと、人事でセンター長の小林、赴任以来 10 年以上にわたり当センターを支えてきた畠山に代わり、石井と足立がそれぞれ着任致しました。新しいメンバーを迎え、心新たに支援業務の充実に心がけます。また、本年 4 月には熊本地区を中心に甚大な被害をもたらした熊本地震が発生しました。震源地近くにある熊本大学でも建物や設備に甚大な被害を受けたとの話を聞きました。ただ、全国でも有数の規模を誇る動物実験施設では、飼育並びに保存していた遺伝子改変マウスや凍結胚/精子には被害がなかったとのこと。埼玉県でも 2016 年度には震度 4 以上の地震を 6 回記録し、さらに、関東地区では直下型地震の危険性を伝える報道もあります。当センターにおいても、いつおこるともわからない天災に対して、「備えよ常に」の心構えで日頃から対応したいと思います。

末筆となり大変恐縮ですが、本号でも多くの方々に、快く依頼に応じご寄稿いただきました。深くお礼申し上げますとともに、ますますのご健康とご発展をお祈りします。また、本機関誌発刊に当たり、レイアウト・編集作業、さらに印刷業者との連絡などは、新美智久技師および成田風花技術補佐員に引き受けていただきました。深く感謝いたします。

(文責 機関誌編集委員長)

### CACS FORUM

埼玉大学研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 8 2017. 12

発行者 埼玉大学研究機構 科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保 255

URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707